

災害に備える！

台風・豪雨時の**避難情報**を確認し避難しましょう

町が発令する避難情報（警戒レベル）

警戒レベル 4 避難勧告で危険な場所から避難！

警戒レベル4には「避難勧告」と「避難指示（緊急）」の2種類がありますが、「避難指示（緊急）」は必ず発令されるものではありません。状況に応じて緊急的に発令される場合、重ねて避難を促す場合などに発令します。

〔警戒レベル5〕（市町村が発令）は既に災害が発生している状況です



昭和63年災害（西根坂水地内）

町が発令する**警戒レベル**で確実に避難しましょう！

気象庁などが発信する「警戒レベル相当情報」を参考に自主的に早めの避難を！

発信者：気象庁や都道府県など

	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
	浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）
4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2相当	氾濫注意情報	—
1相当	—	—



今年も全国各地で大雨などによる自然災害により甚大な被害が発生しています。9月から10月にかけては日本に接近・上陸する台風が多くなり、大雨、洪水、暴風などをもたらします。また、川の氾濫や土石流、がけ崩れなどが発生しやすく、私たちの生活や生命が脅かされるような自然災害が多発する危険性が高まります。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により避難行動も変化しています。

災害時の「**避難情報**」「**避難行動**」「**非常持ち出し**」について、再度確認をしましょう。

知っておくべき重要ポイント

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

避難とは「難」を「避」けること
安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。

避難先は小中学校・公民館だけではありません
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

マスク・消毒液・体温計が不足しています
自ら携行してください。

豪雨時の屋外での移動は車も含め危険です
やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況などを十分確認してください。